

## バチルス・サブチリス由来のアセチルキシランエステラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1534

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 酵素学において、アセチルキシランエステラーゼ(EC 3.1.1.72)は、キシランおよびキシロ

オリゴ糖の脱アセチル化という化学反□を触媒する酵素です。この酵素は加水分解酵素のファ

ミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

*別名* アセチルキシランエステラーゼ; EC 3.1.1.72; 188959-24-2; 9000-82-2

製品情報

**種** バチルス・サブチリス

**由来** 大腸菌

形態 35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM

CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

**EC**番号 EC 3.1.1.72

*CAS*登□番号 188959-24-2;9000-82-2

*分子量* 28.0 kDa

**純度** >SDS-PAGEによる評価で90%

濃度 1 mg/mL

*最適pH* 8.5

*最適温度* 35 °C

*特異性* 7-アミノセファロスポラン酸、セファロスポリンC、p-ニトロフェニルアセテート、b-ナフチ

ルアセテート、グルコースペンタアセテート、アセチル化キシラン

保管・発送情報

**保存方法** この酵素は常温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。